

・日時:2020年①4月25日②6月27(土)14:00～15:00  
・場所:異病院総合リハビリテーションセンター  
・内容:①測定会・地域の運動・健康窓口②筋トレ教室  
・参加費:無料  
・定員:不要  
・問合せ先:医療法人マックスヘルス異病院リハビリテーション科  
TEL072-763-5100

## いけだ地域栄養士会 葉菜の会

大きな～れ!  
すくすくごはん  
～食物アレルギー編～

・日時:6月15日(月)11:00～12:00  
・場所:池田市保健福祉総合センター3階健康教室  
・対象:小学校低学年までの子どもの保護者(保育はありません)  
・内容:卵・牛乳・小麦を使わない料理の試食と交流会  
※調理器具・食器はアレルギー専用ではありません  
・参加費:500円  
・定員:16人  
・申し込み:072-752-4334(事務代行トアエル)

※新型コロナウイルスの影響でイベントが中止になる場合がございます。開催状況については主催者へお問い合わせ下さい。



池田市内で活動する団体のイベント情報をお知らせします



はじめる・ひろげる・つなげる・トアエルがサポートします

### ●イベント・会議サポート

吊り下げ名札やプロジェクター、マイク、ビデオカメラなどの貸出を行っているほか、看板やポスターなどの大判印刷をご利用いただけます。また、トアエルマーケットなどにも出店いただけます。



大判プリンター



タブレットPC&インター

### ●事務サポート

連絡先として、トアエルの住所・電話・FAXがご利用いただけるほか、メールボックスやロッカーがご利用いただけます。また、印刷・コピー、紙折、ラミネートなどがご利用いただけます。



トアエルカレッジ/フォーラム



Bluetoothスピーカー&マイク

### ●広報サポート

本情報誌「トアエル」へのチラシの挟み込みのほか、イベント告知やメンバー募集を情報誌やメールマガジンを通じて行えます。



ラミネーター

※利用条件や料金などはお問い合わせください。

情報誌トアエルは4月、7月、10月、1月(毎回10日)に発行予定です。イベント等の掲載やチラシの挟み込みを希望される方は、発行前月の10日までに事務局へご相談ください。メールマガジンでは、団体のイベント情報の他、助成情報なども配信いたします。配信・掲載を御希望の方はinfo@toael.jpまで必要事項をお知らせ下さい。●配信希望:氏名、所属団体名、電話番号、配信先メールアドレス●掲載希望:イベント名、主催、日時、場所、内容、参加費、申込み・問合せ先など

## 情報誌 トアエル

第9号(年4回発行)

発行所:いけだ市活動交流エンジン「トアエル」  
(池田市公益活動促進協議会)  
発行日:2020年4月10日  
デザイン:株式会社バード・デザイン/ハウス  
印刷:セイコープロセス株式会社  
〒563-0058 大阪府池田市栄本町9-1池田市立コミュニティセンター内  
TEL 072-750-5133 FAX 072-750-5125 E-mail: info@toael.jp

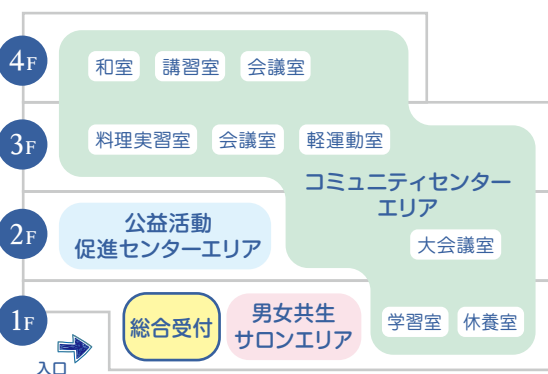


https://toael.jp



### 【募集】広告でトアエルを応援しませんか

情報誌トアエルは、現在5,000部を発行しています。紙面の充実や増刷発行に広告を通じて応援いただける方を募集しています。また、広告等に優待のある団体賛助会員や寄付についても随時受け付けています。寄付は、いただいた金額と同額を池田市が公益活動基金に積み立てるマッチングギフト方式が採用されています。詳しくは事務局までお問い合わせください。



(12月29日から1月3日は全館休館)

### コミュニティセンター(通称:コミセン)

さまざまな用途で利用いただける貸室があります。  
●開館時間:9時～22時(月曜休館)

### 公益活動促進センター(通称:センター)

社会貢献活動を行うためのサポートや貸室があります。

●開館時間:9時～19時(月曜、日曜・祝日休館)  
※貸室:前日予約により日曜・祝日利用、21時までの利用が可  
※日曜・祝日:ロッカー利用可、17時閉館の場合あり

### 男女共生サロン(通称:サロン)

男女共生に関わる図書コーナー、授乳スペースがあるほか、女性相談などを行っています。

●開館時間:9時～19時(月曜休館)  
※日曜・祝日:17時閉館の場合あり



阪急電車「池田駅」下車 徒歩7分

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



あなたと会える、みんなと和える

トアエル  
toael

「オープン記念祭!」ものづくりワークショップ@はぐのさと(p.5,6)

## 2020年度がスタート!

トアエルでは今年度も、新しい人・場所・活動の情報などをお届けしていきます。ご期待ください!

2020年春号

toael vol.9 spring 2020





五月山グリーンエコー

中川 勝弘 さん  
清水 敏 さん



## 池田市でうわさのあの人にtoael記者が 突撃インタビュー！



都心の近くにありながら、多様な植物や生物を有する五月山の恩恵によって自然を身近に感じることができる池田市。豊かな里山環境を保つ活動を続けている『五月山グリーンエコー』の中川さんと清水さんにインタビューしました。



トアエルカレッジで五月山の動物について講義する中川さん



里山遊び隊では隊長を務める清水さん

## いのち輝き響き合う 暮らしのそばの森づくり、町づくり

### 里山を守り、守られながら 人と関わる豊かな活動



ハイキングコースの整備

#### -五月山グリーンエコーについて 教えてください

清水：里山保全の機運が高まっていた1996年6月に、(公社)大阪自然環境保全協会が「里山公園プロジェクト」として里山保全リーダーの養成講座を開催。これに参加した会社員や主婦、教師のかたなど35名でグリーンエコーが発足しました。メンバーは増減しながら現在は約90名で、細河、東畑、五月山エリアを中心に活動しています。

中川：小さい頃から家族で昆虫採集やピクニックで五月山に親しんでいましたが、社会人になって池田から転出したのち、実家に戻ったときに秋の五月山を「こんなにきれいだったのか」と再発見したのがグリーンエコーに参加したきっかけです。社会人になって保全協会でボランティアをした後に、グリーンエコーの事務局を担当し、今は代表を務めています。「私たちの公園を、私たちが考え、私たちが行動する」をモットーに里山の森林整備を行っています。

#### -これまでの活動での出来事を 教えてください

中川：やぶを刈り取ると、翌年の植生がガラッと変わってササユリが咲き出すのには驚かされました。整備の結果が見えるのは嬉しい反面、1度手を入れたら入れ続けないと元に戻ります。これが活動の良いところであり、しんどいところです。グリーンエコーの活動拠点「すがたに広場」を整備したことも大きいですね。ハイキングコース「炭焼き小屋コース」も整備しました。



清水：広場は緑のセンターに次ぐベースキャンプになりました。かまどは、野菜汁や豚汁づくり、冬には人の輪を作る暖炉として活用されています。炭焼小屋にはピザを焼く石窯も設置しました。「里山あそび隊」(※)など小学生の野外実習や地域コミュニティにも活用いただいています。



炭焼き窯

### 様々な視点から 里山を見守るなかで ハイカーからの 「ありがとう」の声が嬉しい！

#### -これから活動について どのようにお考えですか

清水：近年台風や豪雨の被害が大きくなってきており、倒木をハイキングコースから撤去することもあります。風が抜けやすくなると樹木が倒れやすくなるため間伐には慎重になっていますが、樹木を放置すると常緑樹林が拡大し、暗い環境が増えてしまうため、



台風被害の復旧作業

自然と相談しながら伐採や刈り払いを行って里山の保水機能や種を保全していきたいですね。ハイカーから「サルがいたよ」「倒木があったよ」「整備ありがとう」とコメントもらえるのが活動が続ける中での大きな励みと喜びですね。

中川さんの  
こうなったら  
いいな

中川：おひとりはもちろん、友達や親子などで気軽に来ていただいて、自然の豊かさを味わってもらえたら。自然から教わることはたくさんあります。お金をかけずに心を豊かにできる環境がここにあるので、ぜひ遊びに来てください。グリーンエコーの活動に参加いただけたら、いろんなレクチャーを受けることもできますよ。花の観察をしたいなど、何かを楽しみに来た多くの方で賑わう姿が見たいですね。

自然から教わることは無限大！  
より多くの人に気軽に味わって欲しい

<インフォメーション・問合せ先>

五月山グリーンエコー  
住所／大阪府池田市五月丘5-2-5(池田市緑のセンター内)  
TEL／072-752-7082  
FAX／072-752-7401  
Web／<http://gn-echo.sakura.ne.jp/>

### 里山あそび隊



トアエルが主催、五月山グリーンエコーなど市民活動団体がプログラムを提供する「里山あそび隊」。今年度も6月から活動をスタートします。小学生を対象に、さまざまな自然体験活動を通して子どもたちの豊かな心や感性、自立心、地域への愛着を育みます。子どもたちと一緒に活動するリーダーや親子での参加也大歓迎！開催案内チラシを5月ごろに市内各小学校より配布いただきますので、みなさま奮ってご応募ください。

里山あそび隊ブログ  
<http://satoyamaasobi.jugem.jp/>

※新型コロナウイルスの影響で開催時期等が変更される可能性があります



すがたに広場と里山あそび隊

すがたに広場



## ランドマークである旧伏尾台小学校を『人をはぐくみ、ハグできる郷』へ 新たな地域の交流をつくる「はぐのさと」

伏尾台地域の住人による地域活性を目的にした「はぐのさと」が、2019年秋にオープン。旧伏尾台小学校の南校舎の一部をカフェ・ミーティングスペース・リユースマーケット・駄菓子屋などとして、順次活用が予定されています。地域  
の力で運営されるこの場所を市民活動の場として、どのように活用できるの  
でしょうか。「はぐのさと」を訪れました。



**池** 田市北部にあるニュータウン「伏尾台」に立地する旧伏尾台小学校。見晴らしの良い運動場のそばに北校舎と南校舎があります。地域の交流拠点としての南校舎は現在どのような運営がされているのでしょうか。その一部『はぐのさと』を管理運営されている「(一社) 伏尾台コミュニティ」の春山さん、竹之下さんにお話を伺いました。

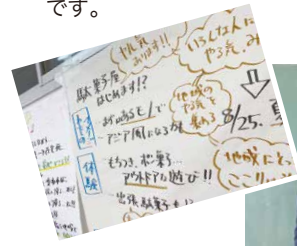
**春山:** 2016年1月、伏尾台の人口減少に歯止めをかけるため、池田市の公募により地域住民主体の会議体として「伏尾台創生会議2020」が活動を開始しました。活動のなかで作成した伏尾台創生プランに、旧伏尾台小学校跡地を伏尾台創生活動の拠点とすることが盛り込まれました。名称を「子育てにやさしいまち伏尾台」を象徴する場所として『はぐのさと』(はぐ=育む、



イベントスペース

Hug(抱っこ、包み込む)と名づけ、創生プランの実現に向けた様々な取組の実施・実験を行いました。地域のみなさんの「やりたいこと」(コミュニティビジネス)を募集しプレゼ

ンいただきながら仲間を増やし、それぞれの夢のかけらを大きく育てようと「(一社)伏尾台コミュニティ」を発足させ、多目的施設として南校舎の一部の運用を始めました。  
竹之下: 次世代に向けての魅力的なまちづくりを考えながら、住民の皆さんのチャレンジを実現していく新しい拠点として、みなさまに活用いただける場所になることができればうれしいです。



春山理事長(中央)

### 「はぐのさと」ができるまで

- 2015年3月伏尾台小学校が惜しまれつつ閉校
- 2016年1月「伏尾台地域コミュニティ推進協議会」を中心に「伏尾台創生会議2020」が発足、小学校跡地活用と地域内交通、地域情報発信の取組がスタート
- 2019年9月「(一社)伏尾台コミュニティ」発足
- 2019年11月「はぐのさと」オープン



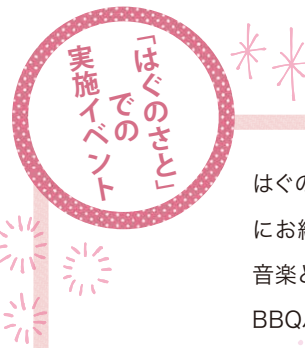
2階のレンタルスペース



綺麗に改修されたトイレ



トレーニング  
機器も  
あります!



はぐのさとcafé、miniフリーマーケット、カーデザイナーと一緒に  
お絵かきとモデルづくりをしよう、ものづくりワークショップ、  
音楽と朗読 ファミリーコンサート、山びこフェスタ(コンサート)、  
BBQパーティなど



ものづくりワークショップ



はぐのさとカフェ  
のランチ



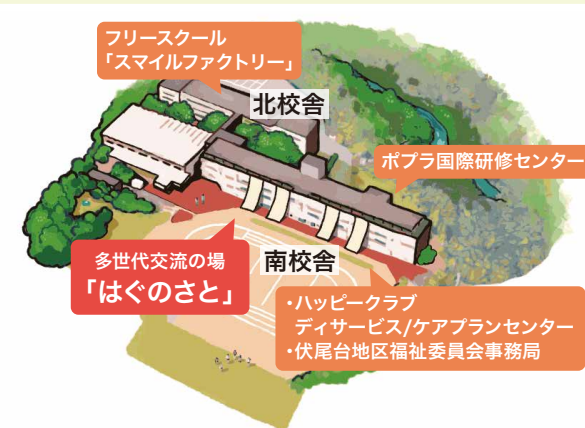
駄菓子屋さん



miniフリーマーケット



### 旧伏尾台小学校見取り図(2020年春現在)



場所活用/いけだんちバリアフリーカフェ



場所活用/伏尾台イノベーションハブの会議

現在はイベントを実施するほか、引き続き創生プランの実現に向け地域住民や大阪大学、企業などが集まりスマートシティの社会実験と研究を重ねる「伏尾台イノベーションハブ(FIH)」の会合や、バリアフリーマスタープランについて市民や行政が意見交換する「いけだんち」主催のバリアフリーカフェなどが開かれています。地域住民や大学、企業が集まり、新しいまちづくりにチャレンジしている伏尾台エリアの新しい息吹を感じます。『はぐのさと』では、市民活動団体のイベントや会合などの利用もウェルカムなんだそう。みなさんも刺激を受けにぜひ利用されてみては。部屋貸しなどについてお問い合わせは以下まで。

#### 〈インフォメーション〉

はぐのさと(旧伏尾台小学校南校舎) /  
一般社団法人 伏尾台コミュニティ  
TEL&FAX: 072-743-6384  
E-mail: xvmr70989@zeus.eonet.ne.jp  
利用時間: 10:00~17:00(要予約)  
Web: <https://fushiodai.dekuras.com/>